

胃がん検診（胃 X 線検査）受診のご案内

公益財団法人 宮城県対がん協会研究局長
日本医療研究開発機構（AMED）研究班研究代表者
深 尾 彰

昨年度はピロリ感染や胃粘膜の萎縮など胃がんのリスクに基づいた新しい胃がん検診（以下検診）の方法を検討するための「リスク別の胃 X 線検診の研究」にご参加いただき誠にありがとうございました。

多くの皆様のご参加により本研究が順調に進行していることをご報告申し上げます。

さて、研究参加の際ご説明申し上げた通り、本研究の計画では **3 年連続** で検診を受診していただくことになっております（今回と次回は血液検査はありません）。

つきましては、皆様には今年度もぜひ検診をお申込みいただき受診されるようお願いいたします。

本研究では、計画通りに検診を受けられた方のデータをもとにして解析するので、より信頼性の高い成果を得るためには皆様のさらなるご協力が欠かせません。

ご多用中とは存じますが、研究計画や「よくある質問」をお読みいただき引き続きご協力いただきたく何卒よろしくお願い申し上げます。

なお、検診が近くなりましたら、最近の健康状態などに関するアンケートをお送りしますので、ご回答くださるようお願いいたします。

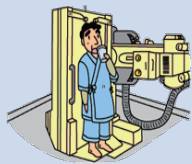
◆「リスク別の胃 X 線検診の研究」の研究計画は次の通りです

①血液検査は初年度のみです

- ピロリ菌抗体検査
- ペプシノゲン検査

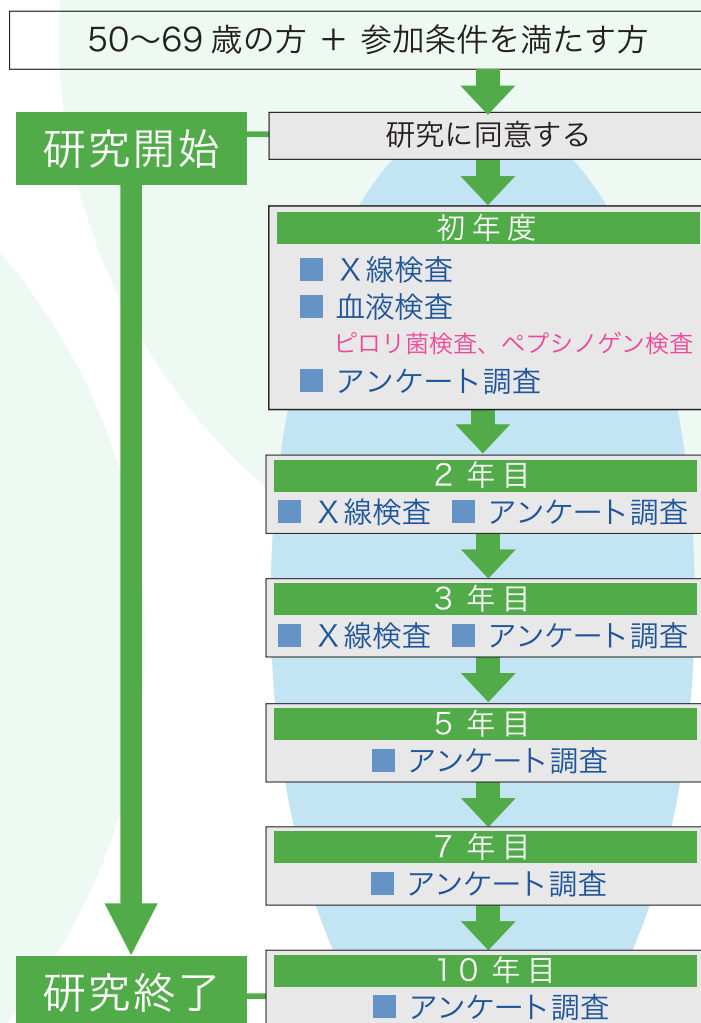


②3年つづけて胃X線検査を受診してください



③10年目まで追跡調査をします

- アンケート
- 住民基本台帳
- 胃がん検診の結果
- 全国がん登録
- 死亡届 など





よくある質問

1. 昨年度の検診では「異常なし」、血液検査は「ピロリ抗体陰性」の通知をもらいましたが、今年も胃がん検診を受けたほうがいいですか？

本研究の目的は、このような方がどのくらい受診間隔を伸ばせるかを検討することですので、ぜひ胃がん検診を受診してください。

2. 昨年度の検診で、「精密検査が必要」と通知があり、病院で内視鏡検査を受けました。特に治療が必要な病変はないといわれましたが、今年度も検診を受けたほうがいいですか？

そうした方も検診の対象になります。今年度も検診を受診してください。ただし、医療機関での経過観察が必要と主治医から指示があった方は、検診の対象とはなりません。今後の検診受診については、主治医の指示に従ってください。後ほどお送りするアンケートに、その状況についてご回答ください。

3. 昨年度の検診では「胃炎」、血液検査は「ピロリ抗体陽性」との通知があり、ピロリ除菌治療を受けましたが、今年の検診はどうしたらいいのでしょうか？

ピロリ除菌が成功しても胃がんのリスクはゼロにはならないことがわかっていますので、除菌に成功した方でも検診の対象になります。今年度も検診を受診してください。ただし、治療を受けた医療機関で、今年度も内視鏡検査を受けることが決まっている方は、今年度の検診は省略しても構いません。後ほどお送りするアンケートにその旨でご回答ください。

4. 昨年度の検診の後、胃の調子が悪いので病院で内視鏡検査を受けたのですが、今年度の胃がん検診はどうしたらいいのでしょうか？

胃潰瘍等と診断され治療を受けた方で、医療機関で経過観察が必要と主治医から指示があった方は、検診の対象とはなりません。今年度の検診は省略しても構いません。後ほどお送りするアンケートにその状況についてご回答ください。ただし、経過観察の指示を受けていない場合は、今年度も検診を受診してください。

5. 昨年度の検診の後、胃以外の病気にかかり療養中ですが、どのようにしたらいいのでしょうか？

検診受診に関しては、主治医に相談してください。後ほどお送りするアンケートに病状等についてご回答ください。

このご案内に関するお問い合わせは

国立研究開発法人
日本医療研究開発機構 (AMED)



Japan Stratified Approach to Screening for Gastric Cancer

宮城県対がん協会研究局 AMED研究事業担当

〒980-0011 仙台市青葉区上杉5丁目7番30号

TEL:090-1496-0176 E-mail:amed-jim@miyagi-taigan.or.jp

革新的がん医療実用化研究事業

個別リスクに基づく適切な胃がん検診提供体制構築に関する研究